

## 週報

# 感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成 27年						平成28年													
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~6日	11月 ~13日	11月 ~20日	11月 ~27日
カンピロバクター	164	131	131	116	64	68	72	56	111	153	116	189	214	150	101	118	13	21	11	20
病原性大腸菌	195	127	95	134	147	174	140	146	163	167	150	157	240	182	166	227	49	54	37 (39)	36
腸管出血性大腸菌	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	1	0	3	0	0	0	0
サルモネラ	20	37	14	36	19	11	12	4	2	8	12	4	19	21	12	16	2	1	1	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	37	26	18	26	15	25	23	20	25	14	19	32	14	24	23	27	2	1	2	3
黄色ブドウ球菌 MRSA	15	19	14	17	22	21	11	11	16	21	20	27	24	19	19	18	3	5	2 (3)	2
腸炎ビブリオ	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
その他	7	8	2	1	1	0	0	1	0	3	3	1	9	10	9	4	1	0	1	0
ロタウイルス	0	0	0	0	1	2	4	19	29	24	29	1	0	0	0	1	0	0	0	0
アデノウイルス	0	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
ノロウイルス	0	0	0	0	0	21	20	20	5	9	2	2	5	0	0	0	0	0	0	0

\* ( )は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

## 広島県感染症発生動向週報

平成28年第47週(11月21日~11月27日)

### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8			1	2	1	3	1
三類	0	発生なし	0							
四類	3	つつが虫病	3	1				2		
五類全数	3	梅毒	3		1			1	1	

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市  
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町  
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第47週 11/21~11/27)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

1. 感染性胃腸炎

定点当たり19.5人と本格的な流行が続いています。この時期はノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団発生が多くなるため注意が必要です。なお、広島市衛生研究所で今シーズン(9月以降)検出されたノロウイルスの遺伝子型別は、GII.2が3件、GII.3が1件、GII.4が2件です。

引き続き、手洗いの励行や便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

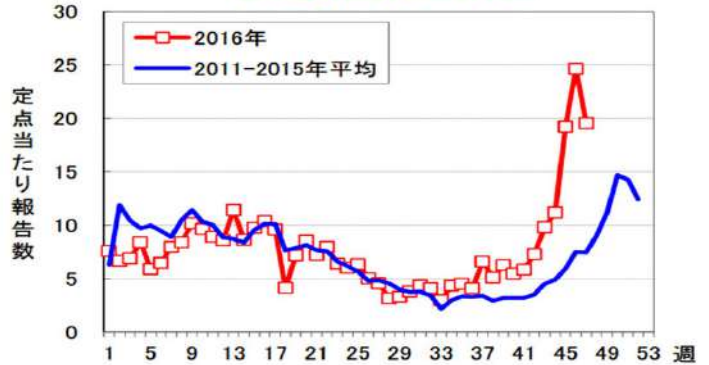
2. インフルエンザ

定点医療機関から27人(定点当たり0.73人)の報告がありました。前週と比べて減少しましたが、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が1件報告されています。早めのワクチン接種、手洗い・うがいの励行、咳エチケットなど感染予防に努めましょう。

3. つつが虫病

第45週に1件、第46週に3件、第47週に2件と報告が続いており注意が必要です。

感染性胃腸炎の流行状況



■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	27	0.73	0.24		▲	小児科	流行性耳下腺炎	5	0.21	0.63		
	咽頭結膜熱	6	0.25	0.38			眼科	RSウイルス感染症	6	0.25	1.10		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	53	2.21	2.34		▶	眼科	急性出血性結膜炎	3	0.38	0.03		
	感染性胃腸炎	469	19.54	7.43		▶	眼科	流行性角結膜炎	1	0.13	1.01		
	水痘	12	0.50	1.05		▼	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	26	1.08	0.39		▶	基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.09		
	伝染性紅斑	8	0.33	0.18			基幹	マイコプラズマ肺炎	6	0.86	0.17		
	突発性発しん	10	0.42	0.53			基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
	百日咳	1	0.04	0.07			基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-		
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.10									

急増減 ▲ (前週と比較しておおむね1:2以上の増減)

増減 ▼ (前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減)

微増減 ◀ (前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減)

横ばい □ (ほとんど増減なし)

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	133	男性(20歳代)・推定感染地域: 国外
4	つつが虫病	2	6	男性(60歳代)・男性(70歳代)
5	梅毒	1	21	男性(30歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(39.5) 嘔気 陰囊痛	2	男	2016/10/18	鼻汁(拭い液)	B型インフルエンザウイルス
感染性胃腸炎	発熱(38.1) 嘔吐 下痢	4	男	2016/10/18	糞便	サボウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	5	男	2016/10/08	鼻汁(拭い液)	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.0) 気管支炎	1	男	2016/10/08	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の呼吸器疾患	発熱(38.4) 気管支炎	6	男	2016/10/14	咽頭拭い液	肺炎マイコプラズマ
その他の呼吸器疾患	発熱(38.6) 上気道炎 気管支炎	2	不詳	2016/10/16	咽頭拭い液	ライノウイルス
その他の消化器疾患	下痢	2	男	2016/10/09	咽頭拭い液 糞便	A型ノロウイルス3型
その他の疾患	発熱(39.0)	0	男	2016/10/22	咽頭拭い液 糞便	コクサッキーウイルスB2型

\* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載